

# チリ

Republic of Chile

		2011年	2012年	2013年
①人口：1,760万人（2013年）	④実質GDP成長率（%）	5.8	5.4	4.1
②面積：75万6,096km <sup>2</sup> （南極領土を除く）	⑤消費者物価上昇率（%）（12月末）	4.4	1.5	3.0
③1人当たりGDP：1万5,791米ドル （2013年）	⑥失業率（%）（12月末）	6.6	6.1	5.7
	⑦貿易収支（100万米ドル）	11,040	2,508	2,117
	⑧経常収支（100万米ドル）	△3,068	△9,081	△9,485
	⑨外貨準備高（100万米ドル、 期末値）	41,979	41,650	41,094
	⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル、期末値）	98,418	117,569	130,724
	⑪為替レート（1米ドルにつき、 チリ・ペソ、期中平均）	483.70	486.50	495.30

〔出所〕①③～⑪：チリ中央銀行、②：国防省

2013年のチリ経済は産出量世界一の銅の国際価格の下落や下半期に鉱業やエネルギー分野での設備投資が冷え込んだ影響を受け、実質GDP成長率は前年を下回る4.1%にとどまった。輸出額は、果物やサケ・マスなどが増加したが、銅などの鉱産物が減少したため、全体では1.2%減となった。輸入額は、自動車、携帯電話、ノートパソコンなどの消費財や燃料が増加したものの、資本財の輸入が減少し、全体では0.2%増にとどまった。対内直接投資は日本企業によるカセロネス銅鉱山への追加投資（19億ドル）や米国の保険会社による年金基金運営会社買収（11億ドル）などの大型案件が実行された。

## ■2013年下半年以降、経済成長が減速

2013年の実質GDP成長率は4.1%で、前年の5.4%を下回る結果となった。外的要因としては、銅をはじめとする原料価格の下落、世界的なエネルギー価格の高騰などが影響した。内的要因としては、国内経済を牽引している鉱業分野における対内直接投資の鈍化や銅価格の下落を受けたエネルギー関連プロジェクトの実施延期などにより、2013年下半年の設備投資が減速したことが影響した。これらを受け、チリ中央銀行（以下、中銀）は2014年2、3月の2回にわたって政策金利を引き下げて4%とした。しかし、燃料価格の変動に加え、2013年下半年の干ばつや霜害などの影響により生鮮食料品価格が上昇したことでインフレ率は同年12月に3%まで上昇した。さらに、2014年1月以降の失業率は6%台に上昇し、2013年第4四半期と2014年第1四半期の実質GDP成長率はそれぞれ前年同期の5%前後から2%台後半に落ち込むなど、

表1 チリの需要項目別実質GDP成長率

	2012年	2013年	2013年				2014年
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
実質GDP成長率	5.4	4.1	4.9	3.8	5.0	2.7	2.6
民間最終消費支出	6.0	5.6	5.7	6.4	5.4	4.9	3.7
政府最終消費支出	3.7	4.2	3.4	4.6	5.6	3.1	9.6
国内総固定資本形成	12.2	0.4	8.2	10.2	△1.5	△12.3	△5.0
財貨・サービスの輸出	1.1	4.3	1.1	6.4	11.3	△0.9	5.4
財貨・サービスの輸入	5.0	2.2	7.0	8.1	0.5	△5.3	△3.6

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕チリ中央銀行

国内経済は減速している。この結果、中銀は3月時点における2014年の実質GDP成長率予測を前年11月に設定した4.1%から3.7%に下方修正した。

## ■貿易収支赤字が拡大

中銀の発表では、2013年の貿易（通関ベース）は、輸出額が前年比1.2%減の773億6,750万ドル、輸入額は0.2%増の796億2,120万ドルで、貿易収支は22億5,370万ドルの赤字となった。前年に続いて赤字を記録し、その幅は拡大した。主要輸出品目である銅の国際価格が前年比7.8%下落した影響を受け、輸出量では5.4%増加したものの輸出額は4.0%減少した。一方、果物（14.0%増）やサケ・マス（39.4%増）等の輸出額が大幅に増加した結果、輸出総額は微減にとどまった。また、2013年下半年の設備投資の冷え込みによって資本財の輸入が落ち込んだが、活発な民間最終消費支出を反映して消費財の輸入が好調だったため、輸入総額は微増となった。

## ■輸出品目の多様化が進む

輸出品目別では、総額の58.5%を占める鉱産物が前年比6.2%減の452億7,400万ドルだった。そのうち、38.8%を占める銅鉱石は、7.0%増の171億8,879万ドルで輸出量も18.7%増加したものの、42.6%を占める陰極銅は前年比14.2%減の188億5,350万ドル（輸

表2 チリの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	2012年		2013年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	78,277	77,368	100.0	△1.2
農林水産物	5,111	5,858	7.6	14.6
果物	4,289	4,887	6.3	14.0
林産物	44	43	0.1	△1.1
水産物	101	145	0.2	43.3
鉱産物	48,287	45,274	58.5	△6.2
銅・鉄	43,130	41,115	53.1	△4.7
その他	5,157	4,159	5.4	△19.4
工業製品	24,879	26,235	33.9	5.4
加工食品類・飲料・アルコール類・たばこ	9,877	10,656	13.8	7.9
木材・木製家具・セルロース・製紙	5,357	5,738	7.4	7.1
基礎化学製品・石油派生品・ゴム・プラスチック	4,046	3,892	5.0	△3.8
金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器	2,878	3,060	4.0	6.3
その他	1	1	0.0	80.0
輸入総額 (CIF)	79,468	79,621	100.0	0.2
農林水産物	1,172	1,196	1.5	2.0
鉱産物	8,347	8,686	10.9	4.1
銅・鉄	7,255	7,732	9.7	6.6
工業製品	69,949	69,739	87.6	△0.3
加工食品類・飲料・アルコール類・たばこ	4,989	5,144	6.5	3.1
繊維・衣類・革製品	4,522	4,789	6.0	5.9
木材・木製家具・セルロース・製紙	1,862	1,929	2.4	3.6
基礎化学製品・石油派生品・ゴム・プラスチック	21,738	20,518	25.8	△5.6
鉄・鉄鋼、非鉄基礎産業	2,337	2,110	2.6	△9.7
金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器	32,603	33,334	41.9	2.2

[出所] チリ中央銀行

出量は6.1%減)であった。鉱産物以外ではブドウ(15.3%増)やリンゴ(19.1%増)、ブルーベリー(15.9%増)などの果物、サケ・マスなどの農林水産物が14.6%増、金属製品やセルロースなどの工業製品も5.4%増を記録した。

国・地域別では、総額の24.8%を占める中国向けが前年比5.5%増となる一方、これに次ぐ米国向け(構成比12.6%)は1.8%増にとどまり、EU27向け(14.6%)は5.8%減、日本向け(9.9%)も8.6%減を記録した。

中国向けは陰極銅(構成比38.3%)の輸出額が12.0%減の73億6,731万ドルと減少した一方、これに次ぐ銅鉱石(29.8%)は28.2%増の57億2,941万ドル、第3位の粗銅(9.2%)も31.9%増加した。これら上位3品目で中国への輸出額全体の77.3%を占めた。

米国向けは、陰極銅(構成比34.0%)の輸出が5.9%減の33億1,759万ドルであったものの、果物(11.5%増の16億5,100万ドル)、サケ・マス(45.6%増の10億4,400万ドル)、林産品・木製家具(24.8%増の6億6,900万ドル)等の輸出が増加した。

EU27向けは5.8%減の112億7,800万ドルであった。銅

表3 チリの主要国・地域別輸出入<再輸出を含む総額、通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	2012年		2013年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	78,277	77,368	100.0	△1.2
中国	18,218	19,219	24.8	5.5
米国	9,580	9,756	12.6	1.8
日本	8,384	7,661	9.9	△8.6
EU27	11,970	11,278	14.6	△5.8
オランダ	2,739	2,542	3.3	△7.2
イタリア	2,013	1,658	2.1	△17.7
フランス	1,222	1,109	1.4	△9.2
韓国	4,552	4,272	5.5	△6.1
メルコスール	6,053	6,160	8.0	1.8
ブラジル	4,294	4,434	5.7	3.3
メキシコ	1,346	1,321	1.7	△1.8
台湾	1,818	1,646	2.1	△9.5
輸入総額 (CIF)	79,468	79,621	100.0	0.2
米国	18,188	16,088	20.2	△11.5
中国	14,432	15,702	19.7	8.8
メルコスール	10,952	9,823	12.3	△10.3
アルゼンチン	5,283	3,934	4.9	△25.5
ブラジル	5,186	5,111	6.4	△1.5
韓国	2,604	2,771	3.5	6.4
コロンビア	2,185	1,721	2.2	△21.2
日本	2,596	2,495	3.1	△3.9
EU27	10,635	13,187	16.6	24.0
ドイツ	2,862	3,202	4.0	11.9
英国	892	1,468	1.8	64.6
メキシコ	2,608	2,543	3.2	△2.5

[出所] チリ中央銀行

(10.7%減の58億4,200万ドル)や化学製品(15.1%減の9億9,700万ドル)は減少しているが、果物(21.9%増の10億6,200万ドル)やサケ・マス(約2倍の2億1,300万ドル)の輸出は大幅に増加している。

## ■高い消費意欲とFTAを背景に消費財の輸入は増加傾向

輸入を品目別にみると、自動車(19.4%増の31億9,674万ドル)、携帯電話(21.8%増の18億940万ドル)、ノートパソコン(12.6%増の8億9,862万ドル)などの消費財が大幅な増加を続けている。チリ自動車産業協会(ANAC)によると、2013年の新車販売台数は前年比11.6%増の37万8,240台に達し、4年連続で過去最高を記録した。これは、高い所得水準や安定したインフレ率に加え、チリは各国・地域と自由貿易協定(FTA)・経済連携協定(EPA)を積極的に締結し、市場開放を行っていることから、欧州、米国、日本、韓国などの自動車メーカーが相次いでチリ市場に参入しているためだ。平均車両価格も過去10年間で乗用車は19%、SUVは33%下落した。長城「グレートウォール」、奇瑞「チェリー」などの中国ブランド車の販売台数は前年比20.1%増の4万1,804台に達し、シェアは11.1%、メーカー国別の新車販売台数では日本、韓国、米国に次ぎ4位を占めた。

国・地域別では、最大の輸入先である米国が、資本財の輸入が前年比で20億8,700万ドル(39.8%)減少したことを受け、11.5%減の160億8,810万ドルにとどまった。また、全体の65.7%を占める燃料、潤滑油などの中間財も2.5%減少している。

中国からの輸入額は8.8%増の157億200万ドルで、うち53.6%を消費財が占めた。輸入の上位2品目は、携帯電話(25.1%増の16億5,183万ドル)とノートパソコン(20.7%増の8億2,539万ドル)で、それぞれ対中国輸入額の10.5%、5.3%を占めている。企業別では上記2品目を取り扱うサムスン電子(69.3%増の6億9,254万ドル)やアップル(7.7倍の4億3,482万ドル)が輸入額を大きく伸ばした。また、ファラベラ(14.9%増の3億7,675万ドル)、センコスッド(8.9%増の3億3,144万ドル)、ウォルマート(13.7%増の2億4,076万ドル)などの小売り・流通グループも上位に入っている。

EU27からの輸入額は24.0%増の131億8,680万ドルで、中間財、資本財、消費財の全てで増加した。特に資本財は35.4%増と大幅に増加した。国別で見ると、中間財では英国からの原油(3.7倍の8億268万ドル)、オランダからのガソリン(2.5倍の2億540万ドル)が大幅な増加をみせたほか、資本財ではフランスの航空機(2.9倍の12億

3,542万ドル)、ドイツの機械部品(6.0倍の2億87万ドル)、スペインからの風力発電機(5,298倍の9,536万ドル)などが急増した。

メルコスールからの輸入額は、ブラジルからが1.5%減少、アルゼンチンからも25.5%減少したことにより、全体で10.3%減の98億2,290万ドルとなった。内訳をみると、ブラジルからは中間財の輸入が1.0%増加した一方で、資本財の輸入が減少した。また、アルゼンチンからは中間財の輸入が33.4%減と大幅に減少した。

他の中南米諸国からはディーゼル油や原油などの輸入額が多く、エネルギー資源輸入における中南米諸国への依存度は45.2%(68億2,700万ドル)に達している。ただ、前年に急増したトリニダード・トバゴからの液化天然ガス(LNG)の輸入額は34.8%減少した。

通商政策面では、2014年1月にベトナムとのFTAが発効した。同年2月にはメキシコ、コロンビア、ペルーと「太平洋同盟枠組み協定の追加議定書」に署名し、同盟国間の二国間FTAを広域の経済統合に進化させる取り組みが進められている。また、同年5月末にはインドネシアとの交渉が始まった。なお、2012年9月に調印した香港とのFTAはチリ議会での承認待ち、また、2013年2月に交渉が終結したインドとの部分協定拡張に関しては調印日程の調整中であり、同年10月に調印したタイとのFTAは、チリ議会での承認手続き中となっている。チリは世界の主要国・地域とFTA・EPAを締結しており、往復貿易額におけるFTA・EPAカバー率は92.8%に達する。

表4 チリのFTA発効・署名状況

(単位: %)

FTA	チリの貿易に占める構成比(2013年)			
	往復	輸出	輸入	
中国	22.2	24.8	19.7	
米国	16.5	12.6	20.2	
EU27	15.6	14.6	16.6	
メルコスール	10.6	8.6	12.5	
日本	6.5	9.9	3.1	
韓国	4.5	5.5	3.5	
メキシコ	2.5	1.7	3.2	
ペルー	2.4	2.5	2.2	
インド	1.9	3.0	0.9	
エクアドル	1.9	0.7	3.2	
カナダ	1.9	1.8	1.9	
発効済み	コロンビア	1.7	1.1	2.2
	ボリビア	1.2	2.2	0.2
	EFTA	1.0	1.5	0.5
	オーストラリア	0.8	1.0	0.5
	中米	0.4	0.6	0.2
	トルコ	0.4	0.5	0.3
	ベトナム(2014年1月発効)	0.4	0.4	0.4
	マレーシア	0.3	0.3	0.3
	P4	0.2	0.2	0.2
	パナマ	0.1	0.2	0.1
	キューバ	0.0	0.0	0.0
	合計	92.8	93.8	91.9
署名済み	タイ(2013年10月)	0.6	0.3	1.0
	香港(2012年9月)	0.2	0.2	0.2

[注] 中米: コスタリカ、エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラ、ニカラグア。P4: ニューゼaland、シンガポール、ブルネイ。

[出所] チリ中央銀行

## ■対外直接投資は過去最高額を記録

対内直接投資額(国際収支ベース)は、前年比29.0%減の202億5,800万ドルにとどまった。

表5 チリの国・地域別対内直接投資上位10カ国<実行ベース、外国投資規定(DL)600号によるもののみ>

(単位: 1,000ドル、%)

	2012年	2013年		1974~2013年累計
	金額	金額	構成比	
日本	2,534,160	2,524,905	34.3	△0.4
米国	1,886,417	1,915,630	26.0	1.5
カナダ	2,686,499	982,783	13.3	△63.4
コロンビア	-	629,267	8.5	全増
オーストラリア	151,898	561,594	7.6	269.7
英国	19,164	424,710	5.8	2,116.2
ブラジル	667,482	83,075	1.1	△87.6
スペイン	1,938,790	50,742	0.7	△97.4
パナマ	5,243	49,113	0.7	836.7
オーストラリア	-	45,000	0.6	全増
その他	987,655	100,120	1.4	△89.9
合計	10,877,308	7,366,939	100.0	△32.3

[注] すべて暫定値。実行ベース統計には、外国投資規定(DL)600号で定められた全ての投資方法が含まれる。

[出所] チリ外国投資委員会(CIE)



表6 チリの業種別対内直接投資<実行ベース、外国投資規定 (DL) 600号によるもののみ>

(単位:1,000ドル、%)

	2012年	2013年		1974~2013 年累計 金額
	金額	金額	構成比 伸び率	
農業	50,000	10,200	0.1 △79.6	393,176
林業	17,159	50,699	0.7 195.5	572,118
漁業・養殖	-	-	-	319,226
鉱業	4,006,692	3,900,664	52.9 △2.6	36,251,251
製造業	1,180,013	681,877	9.3 △42.2	10,828,691
食品	447,644	634,355	8.6 41.7	3,602,875
木材・製紙	84,084	26,990	0.4 △67.9	1,321,600
化学	606,415	19,032	0.3 △96.9	3,611,568
その他	41,870	1,500	0.0 △96.4	2,292,648
電気・ガス・水道	903,946	283,727	3.9 △68.6	16,391,197
建設	5,189	22,991	0.3 343.1	1,462,443
商業	49,380	178,000	2.4 260.5	5,100,612
輸送・倉庫	1,294,728	360	0.0 △100.0	3,097,437
通信	255,935	248,754	3.4 △2.8	7,807,863
金融サービス*1	2,612,192	627,239	8.5 △76.0	10,820,135
保険	404,999	1,261,893	17.1 211.6	4,525,461
法人向けサービス	97,075	77,090	1.0 △20.6	1,244,792
衛生・同関連サービス	-	-	-	522,644
その他サービス*2	-	23,445	0.3 全増	1,420,363
全部門	10,877,308	7,366,939	100.0 △32.3	100,757,409

[注] すべて暫定値。実行ベース統計には、外国投資規定 (DL) 600号で定められた全ての投資方法が含まれる。

\*1 銀行、投資企業、その他の金融サービス。

\*2 旅行業、不動産、社会関連サービス、医療関連、レクリエーション・文化サービス、その他のサービス。

[出所] チリ外国投資委員会 (CIE)

チリ外国投資委員会 (CIE) によると、2013年の対チリ直接投資額 (外国投資規定 (DL) 600号に基づく総額500万ドル以上の投資実行額) は、前年比32.3%減少したものの、73億6,694万ドルで史上2番目を記録した。国別では日本 (25億2,491万ドル)、米国 (19億1,563万ドル)、カナダ (9億8,278万ドル) の上位3カ国で全体の73.6%を占める。業種別では、鉱業39億66万ドル (構成比52.9%)、保険12億6,189万ドル (17.1%)、食品6億3,436万ドル (8.6%)、金融サービス6億2,724万ドル (8.5%)

である。鉱業分野では、日本のパンパシフィック・カッパー (JX日鉱日石金属と三井金属鉱業が共同出資) と三井物産カッパーインベストメントによるカセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトへの追加投資 (19億1,830万ドル)、オーストラリア、英国および日本のJECO (三菱商事、JX日鉱日石金属、三菱マテリアルが共同出資) によるエスコンディエーダ銅鉱山への追加投資 (8億ドル)、英国および日本の丸紅ロス・ペランブレス・インベストメントによるアントコヤ銅鉱山への投資 (3億1,806万ドル)、日本の住友金属鉱山および住友商事によるシエラゴルダ鉱山への投資 (計2億8,000万ドル) など日本からの大型案件が続いた。日本企業による直接投資額の97.2%が鉱業分野に集中している。

保険分野では、米国のプリンシパル・ファイナンシャル・サービスが年金基金運営会社であるクブルムの株式の90.42%を取得した。食品分野ではコロンビアのヌトレサ・グループがチリの食品メーカーであるトレスモンテス・ルチェティの全株式を取得する過程でヌトレサ・チリを設立し、6億564万ドルの投資を行っている。

2014年1月にサンティアゴで初めて開催された国際投資フォーラムには世界18カ国から107社の参加があり、これらの企業による投資案件は総額60億ドルと見込まれている。また、CIEは2014年第1四半期に33件、総額154億5,400万ドルの投資案件を承認している。

外務省国際経済関係総局 (DIRECON) の発表によると、2013年上半期の対外直接投資額は前年同期比3.1倍の103億7,900万ドルで過去最高を記録した。対外直接投資を行っているチリ企業は1,000社を超え、このうち230社は3カ国以上に進出している。チリと多数の国々との間で発効している投資協定や租税協定によって生じる利

表7 チリの対内直接投資案件上位10件 (2013年)

(単位:1,000ドル)

業種	企業名	国籍	金額	概要
鉱業	パンパシフィック・カッパー／三井物産カッパーインベストメント	日本	1,918,298	カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトへの追加投資
年金基金	プリンシパル・ファイナンシャル・サービス	米国	1,111,878	年金基金運営会社クブルムの株式90.42%取得
鉱業	BHPビリトン／リオティント／JECO*	豪・英・日	800,000	エスコンディエーダ銅鉱山への追加投資
食品	ヌトレサ・グループ	コロンビア	605,635	トレスモンテス・ルチェティの株式100%取得
投資信託	PCS チリ II LLC／ラック・インベストメンツ	カナダ	444,748	投資信託 PCS チリへの出資
鉱業	ロス・ペランブレス・インベストメント／丸紅ロス・ペランブレス・インベストメント	英・日	318,057	アントコヤ銅鉱山への出資
鉱業	サルディバル・チレ	カナダ	299,425	投資信託バリック・コノスルへの出資
鉱業	住友金属鉱山	日本	196,000	シエラゴルダ鉱山 (銅、モリブデン、金) への出資
	住友商事	日本	84,000	
通信	NII メルコスール・テレコム	米国	168,098	ネクステル・チリへの出資
電気・ガス・水	センプラ・エナジー・インターナショナル・ホールディングス	米国	160,100	投資信託センプラ・ラテンアメリカへの出資

[注] \*三菱商事、JX日鉱日石金属、三菱マテリアルが共同出資。

[出所] チリ外国投資委員会 (CIE)

点を活用し、チリを中南米ビジネスの拠点や金融センターとして位置付け、近隣諸国に積極的に進出しているチリ企業が増加している。国別ではブラジル向けが55億5,700万ドルで首位となり、以下コロンビア（22億2,200万ドル）、米国（10億7,500万ドル）、ペルー（10億300万ドル）が続いた。1990年から2013年6月までの累計額は、業種別ではサービス業（構成比47%）、製造業（26%）、エネルギー（19%）が多い。サービス業の主な進出先は、ペルー（21.3%）、コロンビア（21.1%）、ブラジル（17.7%）、アルゼンチン（16.7%）、米国（10.7%）となっている。2013年の案件例としては、5月にファラベラがブラジルのホームセンターDICICOの株式50.1%を約1億8,860万ドルで取得、7月にはラン航空がペルーで新規路線開設および航空機購入のため4億5,000万ドルの投資を発表した。また、8月には通信会社エンテルが携帯電話会社ネクステル・ペルーの株式100%を4億1,060万ドルで取得すると発表した。さらに、BCI銀行が5月に米国マイアミのシティ・ナショナル銀行の全株式を8億8,280万ドルで取得することで合意に至った例などが挙げられる。

2014年3月に発足したミチェル・バチレ政権はDL600号を廃止し、新たな外資受け入れ制度や仕組みの構築を公約としている。政府機関であるCIEと投資契約を締結することで、政府が投資を保障する現行法の仕組みはチリへの大型外国投資を促す役割を担っていた。DL600号の廃止は国内の主要産業である鉱業分野に大きな影響を与えかねないため、代替となる投資刺激策の策定や国営銅公社（コデルコ）への支援が、現在検討されている。

## ■対日貿易は輸出入ともに減少

2013年の対日輸出額は前年比8.6%減の76億6,110万ドルで、チリにとって日本は引き続き第3位の輸出先となった。対日輸出減の要因として、主要産品である銅の国際価格の下落により、総額の63.8%を占める銅鉱（精鉱を含む）が3.4%減の48億8,794万ドル、陰極銅およびその切断片やモリブデン精鉱などもそれぞれ39.8%および20.2%減少したことが挙げられる。また、太平洋サケや冷凍マスの輸出も新興国における中間層の成長に伴う世界的な需要の高まりで新興国向け輸出が増加したことが影響して、いずれも大幅に減少している。サケ・マスを除く食品も17.2%減少したが、ボトルワインは20.4%と大幅に増加し、チリワインが日本市場で確実に評価を得ていることが分かる。

対日輸入額は前年比3.9%減の24億9,487万ドルで、第9位の輸入先となった。最も輸入額が多い乗用車（1500超3000cc以下）は36.6%増の7億6,017万ドルで対日輸入総額の30.5%を占める。新車のメーカー国別販売シェア

は日本が29.6%で首位を占めた。

日本企業による直接投資は鉱業分野への大型投資が相次いだため、過去5年間の累計額は72億ドルを超え、日本はチリにとって最大の投資国となっている。

鉱業分野の他にも日本企業による投資が相次いでいる。

アヲハタはジャムの原材料を調達し、加工・輸出を行う子会社を2013年4月に設立した。ケイヒンは日本企業が現地で火力発電所を建設するにあたり、必要な資材の内陸輸送業務を行うため同年5月、現地法人を設立した。ダイキン工業は同年8月に営業拠点を開設し、チリの空調機器市場に参入した。三菱東京UFJ銀行は資源関連をはじめとする日本企業の活発なビジネス展開を受けてサンチャゴ支店の資本金を積み増し、三井住友銀行も資源開発やインフラ整備プロジェクトなどによる資金需要を見込み、同年5月、ニューヨーク支店サンチャゴ出張所を開設した。また、みずほ銀行は2014年度中に出張所開設を目指して具体的な準備作業を進めている。中南米において日本の三大メガバンクが進出しているのは、ブラジル、メキシコに次いで3カ国目だ。同年11月にはいすゞ自動車がゼネラルモーターズ・チリとの合併により、サンティアゴにトラックの組立工場を立ち上げた。住友商事は2014年1月に農薬・農業資材等の販売会社を、阪和興業は同年3月、サケ・マスなど水産物ビジネスの強化のため現地法人をサンティアゴにそれぞれ設立した。

表8 チリの対日主要品目別輸出入

(単位：1,000ドル、%)

	2012年		2013年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	8,384,026	7,661,093	100.0	△8.6
銅鉱 (精鉱を含む)	5,060,740	4,887,939	63.8	△3.4
太平洋サケ (冷凍、頭・はらわた抜き)	445,345	324,851	4.2	△27.1
冷凍マスフィレ	337,003	272,081	3.6	△19.3
木材チップ (グロビュラス種のユーカリ)	303,194	263,759	3.4	△13.0
モリブデン精鉱	321,444	256,568	3.3	△20.2
豚肉 (冷凍、骨なし)	164,923	151,675	2.0	△8.0
陰極銅およびその切断片	201,233	121,061	1.6	△39.8
鉄精鉱	90,932	101,430	1.3	11.5
冷凍マス (頭・はらわた抜き)	149,553	83,556	1.1	△44.1
大西洋サケおよびドナウサケ	57,940	70,418	0.9	21.5
その他	1,251,719	1,127,755	14.7	△9.9
輸入総額 (CIF)	2,596,367	2,494,867	100.0	△3.9
乗用車 (1500cc超3000cc以下)	556,420	760,167	30.5	36.6
乗用車 (1000cc超1500cc以下)	197,216	199,258	8.0	1.0
自動車用タイヤ	172,518	195,153	7.8	13.1
シャシー	85,352	107,909	4.3	26.4
乗用車 (3000cc超)	101,068	90,805	3.6	△10.2
ジェット機用ガソリン	29,156	73,684	3.0	152.7
硫酸	91,643	67,588	2.7	△26.2
掘削機	81,497	60,488	2.4	△25.8
フロントエンドローダー	33,303	33,728	1.4	1.3
乗用車 (15人乗り2500cc以下)	17,111	30,407	1.2	77.7
その他	1,231,083	875,680	35.1	△28.9

〔出所〕チリ中央銀行資料から作成